

【刈払機の使い方】 **講** **習** を **受** **け** **た** **人** が **使** **用** すること

◎エンジンをスタート・作業開始する前に確認◎

- 1 簡単マニュアルを読み・運転操作(特にストップさせる)に慣れてから運転
- 2 飲酒している時や体調が悪い時は使用しない
- 3 使用する時の服装の確認…だぶついた服、腰タオルは(事故の原因)
- 4 周囲への注意…**まわりに人がいないことを確認**、いたら声かけを
- 5 燃料の確認(混合ガソリン25~50:1)…給油・注油する時は、**(火気厳禁)**
- 6 安全めがねをかける。(付属品にある)すべらない靴、
身軽に作業できる服で作業
- 7 始動前に先端工具(刃具)を点検し、ひび割れ、傷、曲がりがないか確認する
- 8 調節や取り替え時の工具が付いてないか確認する

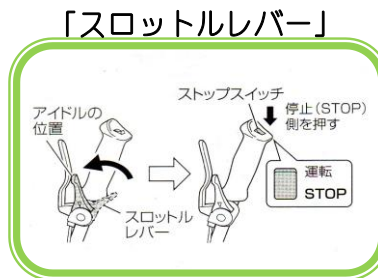


「混合ガソリン」



◎エンジンスタートの手順◎

- 1 平らな場所において、まわりに(15m以内)人がいないことを確認
- 2 スロットルレバーが《アイドル》の位置にあること、ストップスイッチが《運転》側になっていることを確認
- 3 プライミングポンプを《繰り返し押す》
(リターンパイプに燃料が流れ、プライミングポンプが燃料で満たされるまで 目安10回位)
※エンジンが暖まっている時はやらない
(気温20℃以上で1時間ほどの小休止後)
- 4 スタートコントロールレバーを《始動》の位置にする
※エンジンが暖まっている時は《運転》の位置にする
- 5 機体を押えて、スターターハンドルを数回引く
遅れてエンジンが始動することもある
(10回位引いても始動しない時は、2~5を繰り返す)
「スターターハンドル」

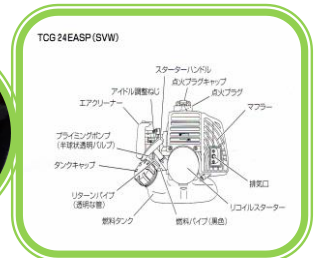


「スロットルレバー」

「ストップスイッチ」



「プライミングポンプ」



「始動の位置」



「運転の位置」



※スターターハンドルのロープを最後まで引き切りきらない

- 6 エンジンが始動したらストップスイッチを押してエンジンが止まることを確認する

※非常時あわてずストップスイッチを押す

- 7 エンジンがかかり始めたらホールドレバーを《握り》ながら、スロットルレバーを《半開》にして、すぐに《アイドル》の位置に戻すとスタートコントロールレバーは《運転》位置に戻る

※スロットルレバーがアイドルの状態では刈刃が止ることを確認

◎いよいよ作業開始◎

※草を刈る前に、石や空き缶、空き瓶など危険な物があったら取り除いて作業を始める

- 1 周りに人がいないことを確認し、手順に基づいて始動する
- 2 刈払機を保持する。(肩掛けバンドを右手と右肩を通し左肩にかけ、刈払機が《体の右側》にくるようにする)
- 3 草を刈る。刈刃の左の上部で刈ると切れ味が良い。
右側で刈ると跳ね返されたりして**危険**
- 4 刈刃を使用の時は、右から左に振るよう作業する。
エンジンの回転は、草の抵抗に合せて回転速度を上げる。
(密生→高速 柔らかい畦草→スロットル半開き)



※ナイロンコードカッターの場合は、左から右に振るよう作業、高速で作業

- 4 ホールドレバーを握ったあと、スロットルレバーを《叙々》に開き作業に合った回転にする
- 5 メインパイプを振り回さないで、腰の移動で刈刃を水平に右から左に弧を描くように振りながら前に進む。



※刈刃の左側で刈り込む

- 6 刈刃の左側を少し下げるように傾け作業すると刈った草が左にまとまり、刈った草が収集しやすくなる。
- 7 刃の交換や草がからまって取る時は必ずエンジンを停止してから作業する。停止する時は、ストップスイッチを押す。



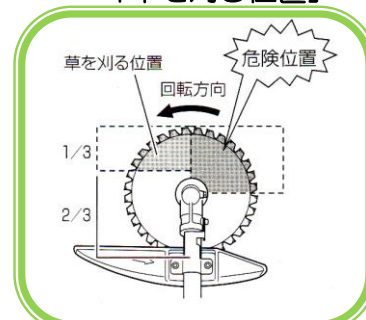
◎保管の注意◎

- 1 全体を清掃し、金属部はうすく2サイクル専用オイルを塗る
- 2 長期間(1カ月以上)使用しない時は、燃料タンクの混合ガソリンをぬぎ、自然に停止するまで空運転をし、気火器の中の燃料を完全になくす。
- 3 点火プラグをはずし、プラグの穴から少量の2サイクル専用オイルをシリンダー内に流し込み、スターターハンドルを数回引きオイルが行き渡るようにする。点火プラグを元通りに取り付ける。

※作業中に油が飛び散ることがあるので目を保護して行なう

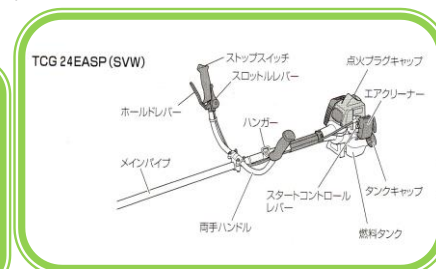
- 4 スターターハンドルを引っ張って重くなった所(圧縮のあるところ)で止める
- 5 盗難防止のため鍵のかかる物置に保管する。
- 6 付属の工具は取扱説明書と一緒に袋に保管する。

「草を刈る位置」



◎わからないことは取扱説明書を読む◎ 物置の壁に下げてあります

- 1 TCG24EASP(SVW) という機種の記事を読んでください
- 2 簡単操作説明でわからないことがあった時は読んで下さい
- 3 刈刃の取り付け、点検は(説明書P15~p17)
- 4 燃料の準備は(説明書P18)
- 5 保守、点検、整備については(P29~P34)
- 6 分解修理などは勝手におこなわないでください



※修理連絡先※ (スーパービバホームちはら台店)

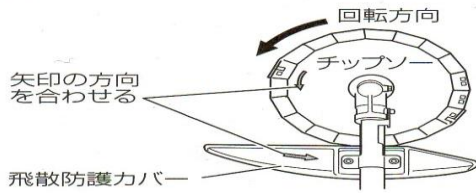
☎ 0436-76-8511

◎刈刃の確認の仕方◎

確認のポイント

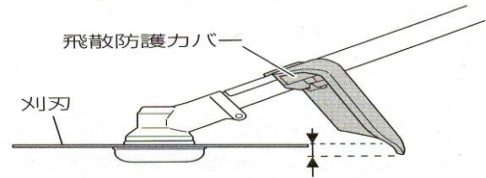
刈刃と飛散防護カバーの矢印の方向が合っている

逆に取付けた場合は、逆の手順で刈刃を取りはずして、再度取付け直してください。



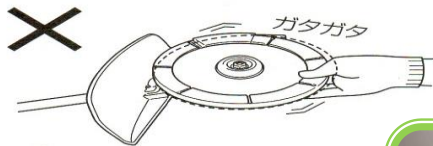
飛散防護カバーの下面より刈刃が出ていない

出ている場合は、再度飛散防護カバーを取付け直してください。
P 15「飛散防護カバーの取付け」参照)



取付け後、刈刃にガタつきがない

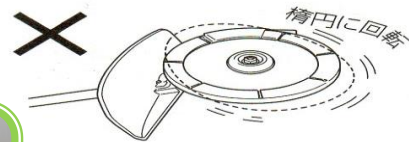
ガタつきがある場合は、左M 10 ナットの締付けが足りない可能性があります。一度左M 10 ナットを取りはずして、再度しっかりと締付けてください。



軽く手で回したとき、刈刃が楕円に回転しない

楕円に回転するとき、刈刃の丸穴が刃受け金具の凸部に合っていない可能性があります。

一度左M 10 ナットを取りはずして、取付けを確認してから、しっかりと締付けてください。



◎刈刃の交換の仕方◎

① 機体を右図のようにさかさにします。このときエンジン本体側の各部（特に点火プラグに注意する）が破損しないように注意してください。

② ギヤケースの穴に付属のロックピンの小径側をさし込みながら、付属のボックススパナで取付ナットを回すと、ロックピンが少し奥に入り回転が止まります。

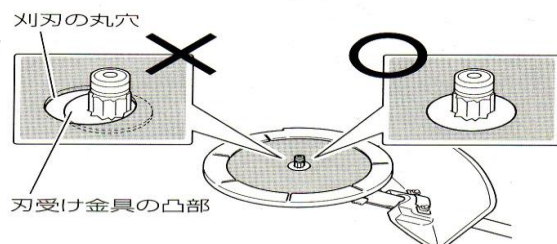
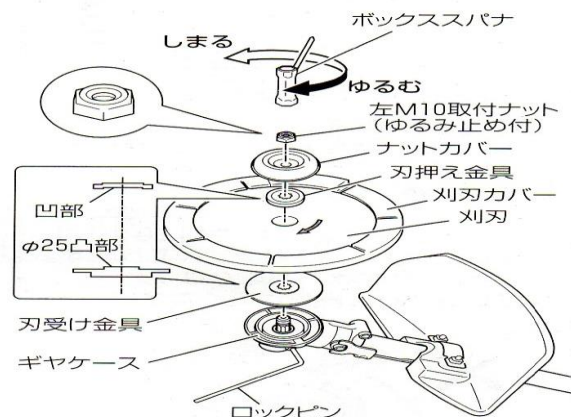
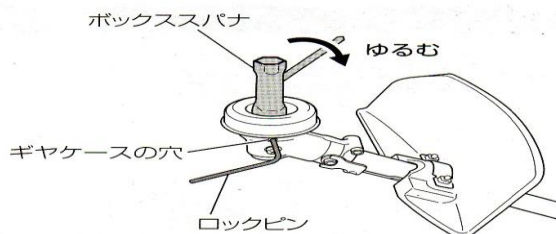
そのまま、ボックススパナで、取付ナット、ナットカバー、刃押し金具をはずしてください。

③ 刈刃の取付けは、刃受け金具に刈刃（刃の向きを確認して）、刃押し金具、ナットカバーの順序で組み付けます。ナットで刈刃を締付けの際は、刈刃が完全に固定される前に重くなります。ご使用前には必ず刃物が固定されているか確認してください。刃受け金具の凸部に、刈刃の丸穴がきちんと入った状態で取付けてください。

④ 取付ナットの丸みのある面をボックススパナ側にして取付けます。

ロックピンの小径側をギヤケースの穴にさし込み、回り止めてボックススパナで確実に締付けてください。

取付けナットを締め付けているときに、刃受け金具の凸部と刈刃の丸穴がズレることがありますので注意してください。



工具は
物置の
袋に



使い方